平成30年度第1回和泉市総合教育会議

日時:平成30年 8月 2日(木)

午後3時30分から

場所: 3号館3階市議会委員会室

次 第

1 議事

テーマ : 学校の教育力向上をめざした「教職員の働き方改革・支援策」について

- (1) 教職員向けアンケートの調査結果について
- (2) 教職員向けアンケートからみえる見直し・改善事項と今後の方向性について
- (3) 支援施策イメージについて

2 その他

資料(1)

A.【アンケート調査対象教職員数】

No.	校 種	対象教職員数(人)
1	小学校•義(前)合計	765
2	中学校•義(後)合計	460
	合 計	1225

※義(前・後)··・義務教育学校(前期・後期)

B.【アンケート調査対象教職員にかかる

回答者数および割合】

No.	校種	回答者数(人)	割合(%)
1	小学校•義(前)合計	491	64.2
2	中学校•義(後)合計	151	32.8
	合 計	642	

【アンケート調査の結果】

①勤務時間内の休み時間および放課後において、

教職員が子どもと向き合える平均時間

1	小学校•義(前)	約1時間12分
2	中学校•義(後)	約1時間24分

②平日の時間外勤務に係る週当たりの平均時間

1	小学校•義(前)	約 13 時間 36
2	中学校・義(後)	約 11 時間 54

③土・日の時間外勤務に係る週当たりの平均時間

1	小学校•義(前)	約2時間48分
2	中学校・義(後)	約1時間36分

4平日、部活動に従事している週当たりの平均時間

2 中学校・義(後) 約8時間30分

⑤土・日部活動に従事している週当たりの平均時間

2 中学校・義(後) 約6時間36分

⑥学校現場における働き方改革の必要性

※「強く感じる」「感じる」の割合(%)

1	小学校•義(前)	80
2	中学校•義(後)	71

★表 I ~Ⅲのカテゴリーについては、平成30年2月9日文部科学省通知「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について」を参考に作成。

[【基本的には教師以外が担うべき業務】

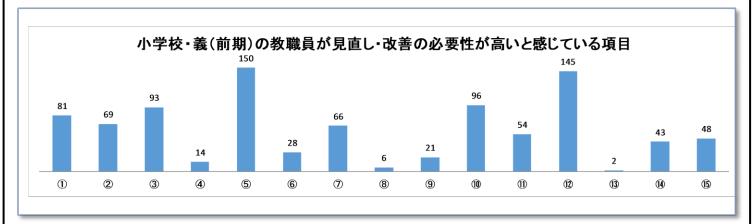
- ①登下校に関する対応
- ②放課後から夜間などにおける見回り、 児童生徒が補導されたときの対応
- ③学校徴収金の徴収・管理
- 4地域ボランティアとの連絡調整

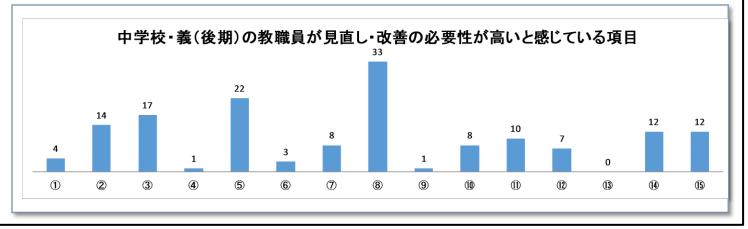
- 【学校の業務だが、必ずしも 教師だけが担う必要のない業務】
- ⑤教職員が扱う調査・統計等への 回答等
- ⑥児童生徒の休み時間における対応
- ⑦教職員による校内美化・環境整備
- ⑧部活動

- 9給食時の対応
- ⑩授業準備
- ⑪学習評価や成績処理
- ①学校行事等の準備・運営
- 13 進路指導
- 14年徒指導

15 その他

★学校現場における働き方改革の必要性を「強く感じる」「感じる」と回答した教職員が、上記①~⑮項目のうち優先順位が高いと思う順に3つ選択したものの総数。





『教職員向けアンケートからみえる見直し・改善事項と今後の方向性』

資料2

見直し・改善の必要性が高いと感じている項目

<小学校・義務教育学校(前期)>

- ①[Ⅱ]教職員が扱う調査・統計等への回答等
- ②[Ⅲ]学校行事等の準備・運営
- ③[Ⅲ]授業準備

<中学校・義務教育学校(後期)>

- ①[Ⅱ]部活動
- ②[Ⅱ]教職員が扱う調査・統計等への回答等
- ③[]学校徴収金の徴収・管理

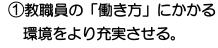
[1]基本的には教師以外が担うべき業務

- [Ⅱ]学校の業務だが、必ずしも教師だけが担う必要のない業務
- [Ⅲ]教師の業務だが、内容を見直し効率化を図ることが可能な業

【主な課題と意見】

時間帯	内 容	学校現場の主な意見		
	・次時の <u>授業準備</u> (印刷、実験器具準備、ライン	①休み時間も授業準備や児童の対応に追われ、自分の休憩時間がもてない。		
授業と授業の間の	引き)・宿題等の丸付け・保護者あて連絡帳・児童、	②支援担任と介助員的な仕事もしているため、休憩時間もなくトイレに行く時間も確保できない。		
休み時間	生徒間のトラブル対応・ <u>学校行事、学年行事</u> にか	③児童・生徒間のトラブル対応のため、授業時間や休み時間中に保護者へ電話連絡しなければならない場面がある。		
	かる支援、指導・保護者等へ電話連絡(<u>徴収金</u> 関	④お金の管理は、時間以上に先生の精神的に負担になる。特に未徴収者への対応に苦慮している。		
	係含む) 等	⑤登下校指導のために、教材研究にあてる時間が削られている。		
	・職員会議・部内会議・ <u>部活指導</u> ・生徒指導	①行事の準備に時間がかかり過ぎて、他の仕事ができない。		
	・学校行事の準備 ・テスト(作成)、ノート等の	②周囲を見てみると、部活動で退勤時間が遅くなったり、土・日も休みがない状態が続いている。		
放課後	丸付け・ <u>授業準備</u> ・PTA会合・夜間巡回・書類	③一番時間がかかっているのは、保護者対応である。保護者は、いつでも、教師が対応してくれるという認識があ		
	のチェック・不登校生対応・保護者等へ電話連絡	る。特に 10 年ほど前から、保護者対応が難しくなり、その業務量は飛躍的に増えている。		
	徴収金関係含む)・調査・統計等への回答作成 等	④同じような内容のアンケートなどが、市からのものや、府からのものや、一般からのものなど多くなっている。		

★「勤務時間内の休み時間および放課後において、<u>教職員が子どもと向き合える時間を増加させる</u>」ために



- 例.)・校務PC環境の充実
 - ・留守番電話の設置
 - ・出退勤タイムカードの導入

②休み時間や放課後において、 教職員が子どもたちと向き合える 学校体制を支援する。

- 例.) · 担任事務支援員
 - 学校事務支援員
 - 部活動支援員

③学校行事や学年行事を精選し、 行事の運営方法を含めたあり方や 見直しを図る。

例.) • 学校行事

・市の行事

現状の課題 教職員アンケートより

小学校・義務教育学校(前期) において見直し改善の必要性 が高いもの

- ○学校行事等の準備・運営
- 〇授業準備
- ○登下校に関する対応

中学校・義務教育学校(後期)において見直し改善の必要性が高いもの

○部活動

〇放課後から夜間などにおける見回り、校外等における生徒指導対応

小・中学校ともに見直し 改善の必要性が高いもの

○学校徴収金の徴収・管理 ○教職員が扱う調査・統計等 への回答等



改善に向けた取組み

効率化

(仮称)

①スクール・サポート・スタッフの配置

②留守番電話の設置

③学校行事の見直し・

4部活動

⑤調査・統計等、研修

⑥学校閉庁日の設定

⑦勤務時間管理システムの導入

【内容】

市内全学校

<教員が行う事務の支援>

(1)授業準備等の補助

印刷、教材や ICT 機材の準備・実験の準備・片付け 等

(2)教育活動補助

学校行事の準備・片付け、学級費・校外学習の会計処理、

掲示物の作成・掲示 部活動準備補助 等

(3) 事務作業の支援

会議資料・通信等の印刷、出席簿・保健簿等の作成補助、

調査の入力、検診結果等の転記等

※・個人情報の取扱いに配慮を要する

【内容】

市内全学校

勤務時間終了後、定めた時刻より 留守番電話対応を行う

【内容】

①和泉市水泳記録会(小) ②和泉市陸上競技大会(小)

③和泉市連合音楽会(小・中)

- ●①②③について、内容を見直し 効率化を図る
- ●①②については、運営にかかる面を外部機関へ委託することも検 討する

※主な学校・学年行事については、 別紙資料④参照

【内容】

- ●週 1 回ノークラブデー (H3O より実施)
- ●部活動支援員の配置
- スポーツ庁(H30.3) 「部活動の在り方に関する 総合的なガイドライン」
- ・学校全体として運動部活動 の指導・運営に係る体制の 構築
- •1日の活動時間は、平日2 時間程度、休業日は3時間 程度
- 複数校の生徒が拠点校の運動部活動に参加する等、合同部活動の取組みの推進

【内容】

〔教育委員会〕

- ●計画的かつ効果的な『研修』 現行の A・B・C 研修の内容および回数等を精選し、少ない回数で最大限の効果が得られるよう工夫する
- ●現場に活かす調査・統計等



結果等



〔学校〕

調査・統計等の結果を受け、子どもたちへの支援・指導に活かす

【内容】

⑥教職員のワーク・ライフ・バランスの促進

- ・計画的な休暇の取得を促す
- 教職員の心身のリフレッシュ を図る

⑦教職員の長時間勤務に対する意識改革

- 長時間勤務の縮減 (健康管理)
- ・業務内容に優先順位をつけ、 計画性を高めかつ効率化を図 る

期待される効果

【効果】

スクール・サポート・スタッフが上図の支援を行うことで生み出される最大時間

【1日あたり】

30分+10分×4+50分=120分(2時間) (始業前時間+授業間〔休み時間〕+下校時刻以降の時間)

年間】

120 分×200日(年間授業日数)=24,000 分 (400 時間)



(生み出した時間の活用例)

- 気になる子どもへの対応関係づくり(遊びや対 新等)
- ・学習支援 ・授業準備 ・宿題等課題への関わり

【効果】

- ○勤務時間内での生徒指 導等対応の推進
- ○保護者・地域に教職員 の勤務時間帯の周知・ 理解促進

【効果】

○例えば・・)

外部スタッフ等の活用に よる教職員の負担の軽減

【効果】

○部活動支援員の活用

- ・部活動指導のサポート
- •安全面の向上

部活動を支援・指導す

部沿勤を文族・指標 る教員の負担軽減

【効果】

○学校が市教委から調査・統計 等の結果を受け、課題等が明確になるため、教職員が課題 等を意識しながら、効果的に 子どもたちへ支援・指導ができる

スクール・サポート・スタッフ活用

- ・学期末の学年・学級会計:計3回
- 校外学習会計:計2回(春・秋)
- ・調査入力 (スポーツテスト等):6回 (学期に2回程度) ※1回60分

健診結果等の転記(12回:1回30分)

【1 学級あたりの増加時間】 60 分×11 回+12 回×30 分 =1020 分(17 時間)

【効果】

○教職員一人ひとりが勤務 時間に対する意識を高め ることで、業務内容に優先 順位をつけ、効率的に業務 に取組めるようになる

教職員の勤務環境整備:教職員の勤務時間内における教育活動の充実および勤務時間外業務の縮減

教職員が子どもに寄り添い、支援・指導できる教育環境の充実 = 子どもにとって質の高い和泉の学校教育体制の実現

小学校			中学校		
主な学校行事および学年行事			主な学校行事および学年行事		
4月	• 入学式 • 始業式		4月	入学式・始業式	
	検診等授業参観			• 検診等 • 授業参観	
	春の遠足				
5月	• 家庭訪問 • 検診等	・スポーツテスト	5月	家庭訪問 · 検診等	• 研究授業
		• 非行防止教室		・中間テスト・避難訓練	
		• 交通安全教室			
6月	• 授業参観 • 避難訓練	• 林間(臨海)学校	6月	校外学習・期末テスト	• 修学旅行
	平和集会検診等	• 町探検 • 社会見学		• 検診等	• チャレンジテスト
		• 文化集会			
7月	・懇談会・検診等・English C	• 文化集会	7月	• 終業式 • English S	
	• 水泳指導 • 終業式	生きものたんけん		子ども議会・泉北 JRC トレセン	
8月	・水泳指導・子ども議会		8月	• PTA 環境整備	・実力テスト
	• 和泉市水泳記録大会			• 和泉市トレセン	
	• 泉北 JRC トレセン			• 生徒会サミット	
	• PTA 合同作業				
9月	• 始業式 • 運動会		9月	• 始業式 • 英語暗唱大会	
	•避難訓練 • 校内作品展			• 避難訓練 • 体育祭	
	• 検診等 • 和泉市科学展			• 和泉市科学展	
10月	・みんなの意見体験発表会	生きものたんけん	10月	• 生活体験文発表会	• 研究授業
	• 陸上競技大会	• 文化集会		• 中間テスト	・実力テスト
	• 検診等・秋の遠足	• 社会見学		合唱コンクール	
	• 緊急下校訓練				
11月	・かけ足朝礼	• 文化集会	11月	• 職場体験	・実力テスト
	• 和泉市図画展	• 修学旅行		• 和泉市図画展	• 職場体験
	• 和泉市連合音楽会	• 社会見学		• 和泉市連合音楽会	
	• 授業参観 • 検診等			・期末テスト・進路懇談	
	・マラソン大会・就学時検診				
12月	• 懇談会 • 終業式	・ふれあい体験	12月	• 懇談会 • 終業式	
		• 中学校体験授業			
1月	• 始業式 • 避難訓練 • 検診等	• 薬物乱用防止教室	1月	始業式・卒業テスト	チャレンジテスト
	・和泉市書き初め展	• 文化集会		・和泉市書き初め展	・実力テスト
2月	• お別れ会	スキー教室	2月	・学年末テスト	・百人一首大会
		文化集会			
		老人会交流会			
	÷₩>	・お別れ遠足		÷***	
3月	卒業式・終了式		3月	・卒業式・終了式	
	•6年生を送る会			• 卒業生を祝う会・懇談会	